

平成記念公園「日本昭和村」を語る

●岐阜県平成記念公園整備室長：佐光重広さん



▲公園の思いを熱く語る佐光さん

大人には
里山のなつかしい雰囲気を楽しんでほしい…
子どもには
昭和の伝統文化を身近に感じてほしい…

公設民営方式で来園者に喜んでいただける公園に

平成記念公園「日本昭和村」(以下「日本昭和村」)は、「人と人、人と自然との共生」を理念として、平成4年に建設が決まりました。

建設の候補地は数カ所ありましたが、その中で美濃加茂市が選ばれた理由は、「交通圏が岐阜県の中心的な場所かつ、緑豊かで広大な面積を確保できる場所」という建設地の理想に一番近かったからです。

「日本昭和村」は、岐阜県が建設し、民間事業者が運営していくという公設民営方式の公園で、岐阜県では初の試みです。

公設民営方式にした理由は、施設で一番重要とされる維持管理のコストを下げることもありますが、来園者に「来て良かった」と喜んでいただくには、類似公園の運営ノウハウを持った会社に管理運営をまかせることがベストであり、県民にとってプラスになると判断されたからです。

このような観点から、「日本昭和村」の管理運営は、地域の市町村と協働して農業公園を各地でつなげる株式会社ファームをお願いすることにしました。

公園は生きもの、みんなでよりよい公園に育ててほしい

「日本昭和村」は、昭和30年代を復元しただけの公園ではありません。「昭和の体験」ができる公園です。養蚕ようさん、お茶、炭焼き、機織りなど、これだけいろいろな体験ができる公園はここだけだと思います。

また、大人から見ても本物の自然に近い景観になるように、樹木や川などを配置し、昆虫や鳥、魚などの生物が共生できる場所、本格的なビオトープを整備した公園です。

スローライフ時代に合った「日本昭和村」に、ご家族の皆さんで来園ください。大人には昭和30年代の山里の雰囲気を楽しんでいただき、子どもには、芝居小屋などを見たり、いろいろな体験を通して、昭和の伝統文化を身近に感じてほしいと思います。

公園は生きものです。来園者や、地域の皆さんに、「日本昭和村」を育ててもらい、より良い公園になることを、また、「この公園が岐阜県、そして美濃加茂市の観光の新たな目玉になること」期待しています。

「太古のロマンを感じてください」

昨年の8月、野外活動ゾーンを整備中に、地中2メートルのところから、樹木の化石「珪化木」が見つかりました。

発見当初は、単に大きな木の化石としか思われていませんでしたが、その大きさが気になり、可成地域の地質などに詳しい鹿野勲次さん(関市立関商工高等学校教頭)に調査を依頼。その結果、大変貴重な発見であることがわかりました。

この「珪化木」は約2千万年前のもので、根元の直径が約2.5センチあり、日本最大級といわれてます。

「珪化木」は、風化しないようにシリコンでコーティングし、公園入場門付近の「珪化木コーナー」に展示します。



▲入園して右手の「珪化木コーナー」に配置された珪化木